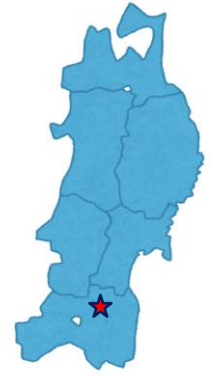


令和元年度 北海道・東北 体育・保健体育ネットワーク研究会 福島ピーチラウンド



令和元年8月17日(土) コラッセふくしま(福島市)

「令和元年度北海道・東北 体育・保健体育ネットワーク研究会 福島ピーチラウンド」が、福島市で開催されました！佐藤 豊先生、高橋修一先生を始め、岩手県1名、山形県1名と、他県からも駆けつけてくださいました。福島県内からは、小・中・高校の先生方や学生15名が参加し、全国屈指の気温を誇る福島の暑さに勝るほどの熱気溢れる“熱いら운드”となりました。

1 情報提供「新学習指導要領における評価の在り方について」

(日本女子体育大学 高橋 修一 教授)

高橋修一先生からは、新学習指導要領における学習評価の在り方として、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点ごとの評価について、また評価方法(場面や頻度)、指導と評価の計画の重要性や学習活動に即した評価規準の作成に至るまで、新指導要領全面実施を前に、体育・保健体育への熱い思いが伝わってくる講義をしていただきました。来年度からのスタートにあたって、特に小学校の先生方にとっては貴重な時間となりました。



2 ワークショップ「コンテンツマップによる授業の検討」&まとめ(桐蔭横浜大学 佐藤 豊 教授)

休憩の後、講義の熱気も冷めやらぬ中、佐藤豊先生の「コンテンツマップによる授業の検討」がスタート。小学校・中学校・高校毎に班を作り、ゴール型ゲームの学習内容を構造的かつ俯瞰的に見ながら、コンテンツ・マップをつくるグループワークを行いました。

3観点ごとの学習内容やそれらに関連する具体的な内容を付箋紙に書き、グループの先生方同士が熱い議論をしながら、模造紙にレイアウトしていきました。最後に、小・中・高校ごとに発表しながら、全体をつなげることによって、校種を越えてゴール型ゲームの系統性についての理解を深めることができました。



4 情報交換会

福島市内にて12名の参加者のもと、情報交換会が行われました。また、会の中程ではそれぞれの自己紹介があり、参加への経緯や授業への思い、今後の課題等が熱く語られました。暑い福島の夜空に打ち上げられた大輪の花火のごとく盛り上がり楽しいひとときを共有することができました。

(文責:福島ピーチラウンド事務局 武井 慎)